

YKB-J工法の施工手順

STEP 1

電動工具(ピックやエアハンマ)により既存止水材を除去。
※遊間幅に合わせた先端金具を用い掘り起こすように行う。



STEP 2

電動工具(ピックやエアハンマ)により鋼材部の浮き錆を折り落とす。
※浮き錆の折り不足は破断の原因となる。



STEP 3

電動工具(ベルトサンダーやワイヤブラシ)により鋼材部を研磨。



STEP 4

遊間幅に合わせたバックアップ材(軟質発泡ウレタン)を設置。
※伸縮装置凹凸の角の部分に隙間ができないよう注意。



STEP 5

バックアップ材の上にテープ材(KFシールテクトテープ300K)を敷設。
※止水材の漏洩がないよう、隙間なく敷設する。



STEP 6

下塗材(KFウレタンプライマー50N)を鋼材部に塗布。
塗布後指触乾燥するまで(30分程度)養生する。



STEP 7

止水材(KFシールテクトベース2000)に硬化促進剤を添加し、機械攪拌する。1層目(所定厚みの1/3程度)を流し込み、漏洩がないか確認する。



STEP 8

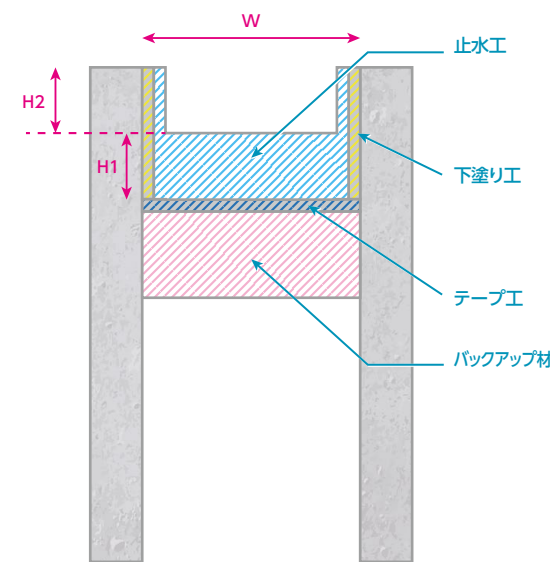
1層目が指触乾燥したら2層目を流し込み所定の厚みを確保する。錆浸食防止のため、鋼材立ち上がり部にも塗り付ける。



KFシールテクト YKB-J工法 標準仕様 Standard Specification

工程	商品名	材料名	標準塗布量	塗装間隔
素地調整		・ 施工箇所に残存する既存止水材を除去して下さい。 ・ 鋼材部に付着している浮き錆は念入りに除去して下さい。 ・ 鋼材部の錆はサンダーケレン等で除去して下さい。		
テープ工	KFシールテクトテープ300K	ブチルゴムテープ	—	—
下塗り工	KFウレタンプライマー50N	1液湿気硬化型ウレタン塗料	0.15kg/m ²	0.5~8時間
止水工	KFシールテクトベース2000	1成分形湿気硬化型ウレタン塗料	36.0~48.0kg/m ²	—

断面図



【標準規格値】※単位(mm)

W 遊間幅	H1 止水材厚み	H2 地面~止水材深さ	テープ工 テープ材厚み	止水工 止水材厚み
20	30	30~40	3	30
30	30	30~40	3	30
40	30	30~40	3	30
50	30	30~40	3	30
60	30	30~40	3	30
70	30	30~40	3	30
80	30	30~40	3	30
90	30	30~40	3	30
100	30	30~40	3	30

※既設ジョイントの形状によっては施工が困難な場合がありますので事前にご相談ください。
★ジョイント箇所、伸縮量によってはこの限りではありません。

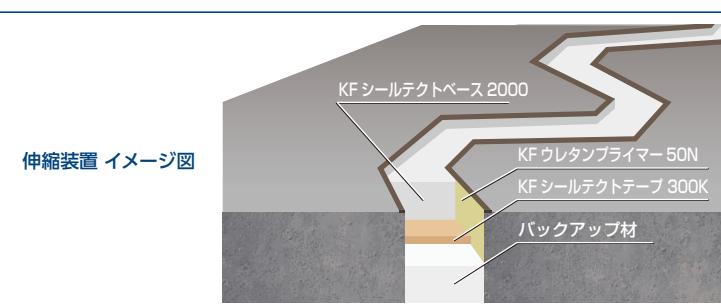
施工条件

- ⚠ 気温5°C以上・湿度85%以下の環境で作業すること。
- ⚠ 施工面が十分乾燥し、結露・凍結がないこと。
- ⚠ 施工面の補修歴が施工に支障のない下地であること。
- ⚠ 施工面が雨水等で濡れていないことを確認すること。(下地含水率10%以下)
- ⚠ 施工面を十分に清掃し、付着阻害要因となる異物を除去すること。
- ⚠ 施工に支障のない程度に止水処理がされていること。

KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

伸縮装置目地止水工法

KFシールテクト YKB-J工法



KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

■ 本 社 (土木・建築事業部)
〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング9F
TEL: 03-6629-9033 FAX: 03-6629-9023
<http://www.k-fine.co.jp/>

特約店



KFシールテクト YKB-J工法のメリット

Merit of KF Sealtect YKB-J Method

1day

内部速硬化型一成分ウレタン樹脂
1日で完工可能
(片側一車線5m)

※ 施工時の時季や温度によって
乾燥時間・塗料間隔は変動するので
ご注意ください。

1成分タイプ 1-INGREDIENT

「KFシールテクトベース2000」は1成分タイプなので、
混合不足による硬化不良がなく、塗膜性能が安定しています。

内部速硬化タイプ INNER CURING FASTLY

「KFシールテクトベース2000」は硬化促進剤の添加により、
内部硬化を促進し早期に止水塗膜を形成し、初期の伸縮挙動に追従します。

交通規制の期間短縮 PERIOD SHORTENING

速硬化性の充填材であるため1日で完工することができ、即日規制開放が可能です。

塗膜の特徴

優れた施工性 WORKABILITY

流動性が高く、狭い隙間にも充填することが可能です。

高耐久性 DURABILITY

紫外線による劣化がほとんどなく、せん断・伸縮・繰返し挙動に
耐えることができ、耐候性・耐久性に優れます。

高追従性 FOLLOWABILITY

硬化後も柔軟性に優れ、-20~50℃の厳しい環境下でも
伸縮性・ねじり・復元性に優れ、高い追従性を有します。



施工前

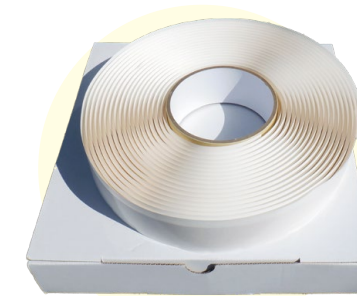


施工後

ブチルゴムテープ KFシールテクトテープ300K

上層材の漏洩、3点接着による伸張性阻害を防止する緩衝材

荷姿 W20mm×8m/巻



KFシールテクトテープ300Kの特長

FEA TURE 1 伸張性が高く挙動に追従する

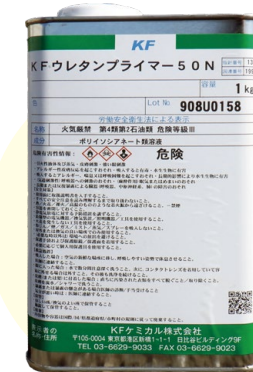
FEA TURE 2 柔らかく加工が容易で複雑な形状にも施工可能

1液湿気硬化型ウレタン塗料 KFウレタンプライマー50N

含浸性能が高く、鋼材と止水材を強固に付着させる下塗材

荷姿 1kg/缶

標準塗布量 0.15kg/m²



KFウレタンプライマー50Nの特長

FEA TURE 1 1液タイプで混合の必要がない

FEA TURE 2 乾燥時間が短い

FEA TURE 3 鋼材部に残るわずかな錆も
含浸固化し性能を発揮する

KFウレタンプライマー50Nの乾燥性

塗料温度	指触乾燥(代表値)	硬化乾燥(代表値)
5℃	3時間	8時間
23℃	1時間	2時間
35℃	0.5時間	1時間

使用上の注意

- ⚠ 使用後は必ず密閉し水分混入の無いように保管してください。
- ⚠ 使用した器具類は直ちにシンナー洗浄してください。
- ⚠ 放置すると硬化し洗浄が困難になります。

1成分湿気硬化型ウレタン塗料 KFシールテクトベース2000

内部速硬化性により、優れた柔軟性と耐久性を早期に発現する止水材

荷姿 主材10kg/缶、硬化促進剤0.3kg/缶

標準塗布量 36~60kg/m²



KFシールテクトベース2000の特長

FEA TURE 1 流し込みにより複雑な形状や狭小部にも施工可能

FEA TURE 2 早期に内部から硬化し性能を発揮する

FEA TURE 3 1成分タイプのため硬化不良がなく、
塗膜全体の性能が安定している

FEA TURE 4 硬化後も長期に柔軟性を
有し挙動に追従する

FEA TURE 5 耐候性に優れる

KFシールテクトベース2000の乾燥性

塗料温度	指触乾燥(代表値)	硬化乾燥(代表値)
5℃	2時間	8時間
23℃	1時間	4時間
35℃	20分	2時間

使用上の注意

- ⚠ 1成分タイプですが、内部硬化を早める為に
硬化促進剤を必ず使用してください。
主剤10kgに対して、硬化促進剤0.3kgを添加して、
電動攪拌機等で1分以上混合してください。

性能

試験項目	試験値	試験方法
最大引張応力	-20℃	2918kN/m ²
	20℃	1312kN/m ²
	50℃	1161kN/m ²
	水中浸漬	851kN/m ²
	200時間ウェザー	816kN/m ²
破断時伸び	-20℃	617%
	20℃	623%
	50℃	518%
	水中浸漬	602%
	200時間ウェザー	600%
引張・圧縮繰返し試験	7000回	異常なし
復元性試験	50%圧縮	99%
180°はく離接着強さ	20℃	1.6kN/m
	200時間ウェザー	1.2kN/m
せん断接着強さ	20℃	1860kN/m ²
	200時間ウェザー	2400kN/m ²

NEXCO 試験方法
試験法 409

JIS K 6854-2

JIS K 6850

KF Sealtect YKB-J Method